



## 設置、メンテナンス、アップグレード

- ネットワークモジュールの取り付け、取り外し、交換 (1 ページ)
- SSD の取り外しと交換 (4 ページ)
- 電源モジュールの取り外しと交換 (7 ページ)
- DC 電源モジュールの接続 (10 ページ)
- 電源モジュールの電源コードの保護 (16 ページ)
- ファントレイの取り外しと交換 (19 ページ)
- 2 支柱ラックの FIPS 不透明シールドの取り付け (21 ページ)
- 4 支柱ラックの FIPS 不透明シールドの取り付け (25 ページ)

### ネットワークモジュールの取り付け、取り外し、交換

Firepower 2130 と 2140 のネットワークモジュールを取り外し、交換することができます。ハードウェアレベルでは、システムの稼働中にネットワークモジュールを取り外して交換できますが、現時点では、ソフトウェアはホットスワップに対応していません。ネットワークモジュールの取り外しおよび交換を行うにはシャーシの電源を切る必要があります。詳細については、[ネットワークモジュール](#)を参照してください。

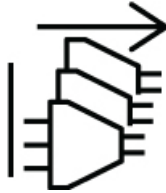
この手順では、ネットワークモジュールを搭載したことのない空のスロットにネットワークモジュールを取り付ける方法と、取り付けられているネットワークモジュールを取り外して別のネットワークモジュールと交換する方法について説明します。

#### 安全上の警告

次のコンポーネント交換に関する安全上の警告に注意してください。

**警告** ステートメント 1028：複数の電源

この装置には複数の電源装置接続が存在する場合があります。感電の危険を減らすために、すべての接続を取り外してユニットの電源を切ります。

**警告** ステートメント 1030：機器の設置

この装置の設置、交換、または保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。

**警告** ステートメント 1073：ユーザーが保守可能な部品なし

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

**警告** ステートメント 1089：教育を受けた担当者および熟練者の定義

教育を受けた担当者とは、熟練者から教育やトレーニングを受け、機器を操作する際に必要な予防措置を講じられる人です。

熟練者または資格保持者とは、機器の技術に関するトレーニングを受けているか経験があり、機器を操作する際に潜む危険を理解している人です。

**警告** ステートメント 1090—熟練者による設置

この機器の設置、交換、または修理は、熟練者のみが実施できます。熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。

**警告** ステートメント 1091—教育を受けた担当者による設置

この機器の設置、交換、または修理は、教育を受けた担当者または熟練者のみが実施できます。教育を受けた担当者または熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。

**ステップ1** 新しいネットワークモジュールを空のスロットに初めて取り付けの場合は、次の手順を実行します。

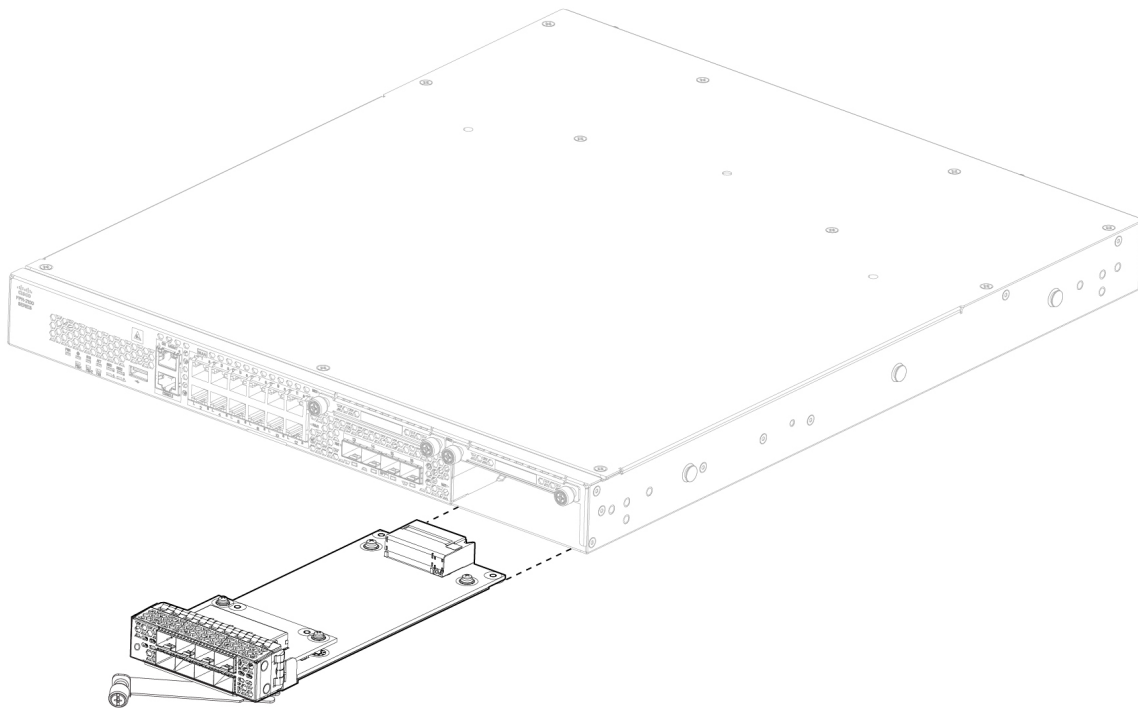
- a) 電源スイッチをオフの位置に動かしてシャーシの電源を切ります。  
電源スイッチの詳細については、[背面パネル](#)を参照してください。
- b) ステップ4～7を実行して、新しいネットワークモジュールを取り付けます。
- c) 電源スイッチをオンの位置に動かしてシャーシの電源を入れます。

**ステップ2** 既存のネットワークモジュールを取り外して交換するには、次のいずれかを実行します。

- a) 設定を保存します。
- b) 電源スイッチをオフの位置に動かしてシャーシの電源を切ります。  
電源スイッチの詳細については、[背面パネル](#)を参照してください。
- c) ステップ3に進みます。

**ステップ3** ネットワークモジュールを取り外すには、ネットワークモジュールの左下の非脱落型ネジをゆるめ、ネジに接続されているハンドルを引き出します。これによりネットワークモジュールがスロットから機械的に排出されます。

図1: ネットワークモジュールの取り外し



スロットを空のままにしておく場合は、適切なエアフローを確保し、シャーシ内へのほこりの浸入を防ぐために、ブランク前面プレートを取り付けます。ブランクプレートを取り付けない場合は、別のネットワークモジュールを取り付けてください。

**ステップ4** ネットワークモジュールを交換するには、シャーシの右側のネットワークモジュールスロットの前でネットワークモジュールを保持し、ネットワークモジュールのハンドルを引き出します。

- ステップ5** スロット内にネットワーク モジュールをスライドさせて、ハンドルがネットワーク モジュールの前面と同一平面になる位置までしっかり押し込みます。
- ステップ6** ネットワーク モジュールの左下にある非脱落型ネジを締めます。
- ステップ7** 新しいネットワーク モジュールが認識されるように、シャーシの電源をオンにします。

## SSD の取り外しと交換

ハードウェア レベルでは、システムの稼働中に SSD を取り外して交換できますが、現時点では、ソフトウェアはホット スワップに対応していません。SSD の取り外しおよび交換を行うにはシャーシの電源を切る必要があります。



- (注) 100 GB SSD は、2110 および 2120 に制限されます。200 GB SSD は、2130 および 2140 に制限されます。混在させないでください。



- (注) コンポーネントの供給状況に応じて、より大容量の SSD が出荷される場合があります。大容量の SSD は、2110 および 2120 では 100 GB にフォーマットされ、2130 および 2140 では 200 GB にフォーマットされます。

スロット 2 にマルウェア ストレージ パック (MSP) を取り付けることができます。MSP は、今後の分析に使用するために脅威の検出データを保存します。MSP は、Advanced Malware Protection (AMP) ソフトウェア機能をサポートします。MSP は、ストレージとして、またマルウェアアプリケーションリポジトリとしても使用されます。RAID はサポートされていません。



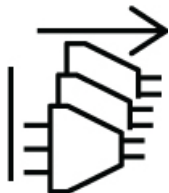
- 注意** 2 つの SSD を切替えないでください。スロット 2 に MSP を取り付ける必要があります。これを取り外してスロット 1 に取り付けると、保存されているすべてのキャプチャデータは失われます。

### 安全上の警告

次のコンポーネント交換に関する安全上の警告に注意してください。

**警告** ステートメント 1028：複数の電源

この装置には複数の電源装置接続が存在する場合があります。感電の危険を減らすために、すべての接続を取り外してユニットの電源を切ります。

**警告** ステートメント 1030：機器の設置

この装置の設置、交換、または保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。

**警告** ステートメント 1073：ユーザーが保守可能な部品なし

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

**警告** ステートメント 1089：教育を受けた担当者および熟練者の定義

教育を受けた担当者とは、熟練者から教育やトレーニングを受け、機器を操作する際に必要な予防措置を講じられる人です。

熟練者または資格保持者とは、機器の技術に関するトレーニングを受けているか経験があり、機器を操作する際に潜む危険を理解している人です。

**警告** ステートメント 1090—熟練者による設置

この機器の設置、交換、または修理は、熟練者のみが実施できます。熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。

**警告** ステートメント 1091—教育を受けた担当者による設置

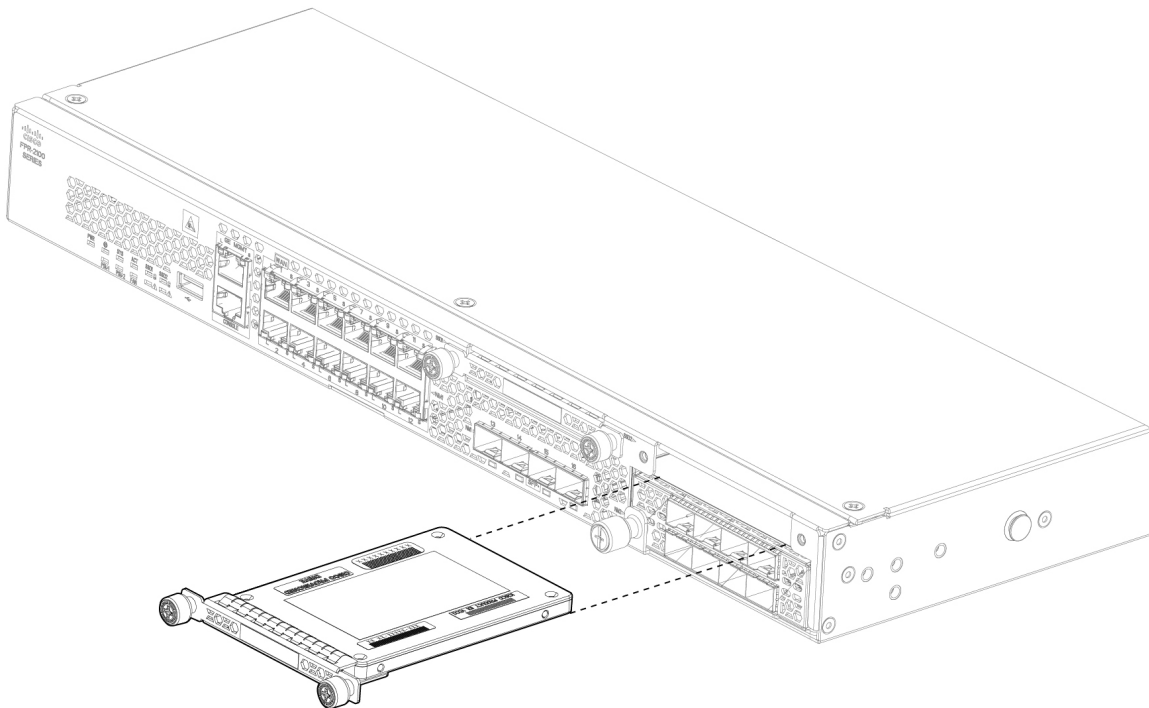
この機器の設置、交換、または修理は、教育を受けた担当者または熟練者のみが実施できます。教育を受けた担当者または熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。

**ステップ1** 設定を保存します。

**ステップ2** 電源スイッチをオフの位置に動かしてシャーシの電源を切ります。電源スイッチの詳細については、[背面パネル](#)を参照してください。

**ステップ3** スロット1のSSDを取り外すには、シャーシの前面に向かって、SSDの2つの非脱落型ネジをゆるめ、シャーシから無理な力を加えずに引き出します。各モデルのSSDスロットの位置については、[前面パネル](#)を参照してください。次の図は、Firepower 2130 および 2140 の前面パネルを示しています。

図2: SSDの取り外し



**ステップ4** スロット1のSSDを交換するには、電源スイッチがオフの位置になっていることを確認してから、スロット1の前でSSDを保持し、無理な力を加えずに固定されるまで押し込みます。

**ステップ5** MSP SSDを取り付けるには、電源スイッチがオフの位置になっていることを確認してから、前面プレートの両側の非脱落型ネジをゆるめて、スロット2のブランクの前面プレートを取り外します。

**ステップ6** スロット2の前にMSP SSDを保持し、無理な力を加えずに固定されるまで押し込みます。

**注意** 2つのSSDを切替えないでください。MSPは、スロット2に取り付ける必要があります。これを取り外してスロット1に取り付けると、保存されているすべてのファイルキャプチャデータは失われます。

**ステップ7** SSDの両側にある非脱落型ネジを締めます。

**ステップ8** SSDが動作していることをSSD LEDで確認します。SSD LEDについては、[前面パネルLED](#)を参照してください。

## 電源モジュールの取り外しと交換

電源モジュールは、ホットスワップ可能です。システムの稼働中に、電源モジュールを取り外して交換することができます。

### 安全上の警告

次の電源およびコンポーネントの取り外しに関する安全上の警告に注意してください。



---

**警告** ステートメント 1003 : DC 電源の切断

感電や怪我のリスクを軽減するために、コンポーネントの取り外しや交換、またはアップグレードを実行する前に、DC 電源を切断してください。

---



---

**警告** ステートメント 1005—回路ブレーカー

この製品は、設置する建物にショート（過電流）保護機構が備わっていることを前提に設計されています。感電または火災のリスクを軽減するため、保護対象の装置は次の定格を超えないようにします。

AC : 20A

DC : 40A

---



---

**警告** ステートメント 1017 : 立ち入り制限区域

この装置は、出入りが制限された場所に設置されることを想定しています。熟練者、教育を受けた担当者、または資格保持者のみが立ち入り制限区域に入ることができます。

---



---

**警告** ステートメント 1018 : 電源回路

感電および火災のリスクを軽減するため、装置を電気回路に接続するときに、配線が過負荷にならないように注意してください。

---



---

**警告** ステートメント 1022 : デバイスの切断

感電または火災のリスクを軽減するため、容易にアクセス可能な二極切断装置を固定配線に組み込む必要があります。

---



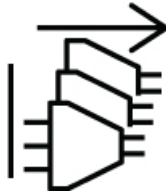
**警告** ステートメント 1025：銅の導体のみを使用

火災のリスクを軽減するため、銅線導体のみを使用してください。



**警告** ステートメント 1028：複数の電源

この装置には複数の電源装置接続が存在する場合があります。感電の危険を減らすために、すべての接続を取り外してユニットの電源を切ります。



**警告** ステートメント 1029：ブランクの前面プレートおよびカバー パネル

ブランクの前面プレートおよびカバーパネルには、3つの重要な機能があります。感電および火災のリスクを軽減すること、他の装置への電磁波干渉（EMI）の影響を防ぐこと、およびシャーシ内の冷気の流れを適切な状態に保つことです。システムは、必ずすべてのカード、前面プレート、前面カバー、および背面カバーを正しく取り付けられた状態で運用してください。



**警告** ステートメント 1030：機器の設置

この装置の設置、交換、または保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。



**警告** ステートメント 1073：ユーザーが保守可能な部品なし

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。



**警告** ステートメント 1046：装置の設置または交換

感電のリスクを軽減するため、装置を設置または交換するときには、必ずアースを最初に接続し、最後に取り外します。



**警告** ステートメント 1089：教育を受けた担当者および熟練者の定義

教育を受けた担当者とは、熟練者から教育やトレーニングを受け、機器を操作する際に必要な予防措置を講じられる人です。

熟練者または資格保持者とは、機器の技術に関するトレーニングを受けているか経験があり、機器を操作する際に潜む危険を理解している人です。

**警告** ステートメント 1090—熟練者による設置

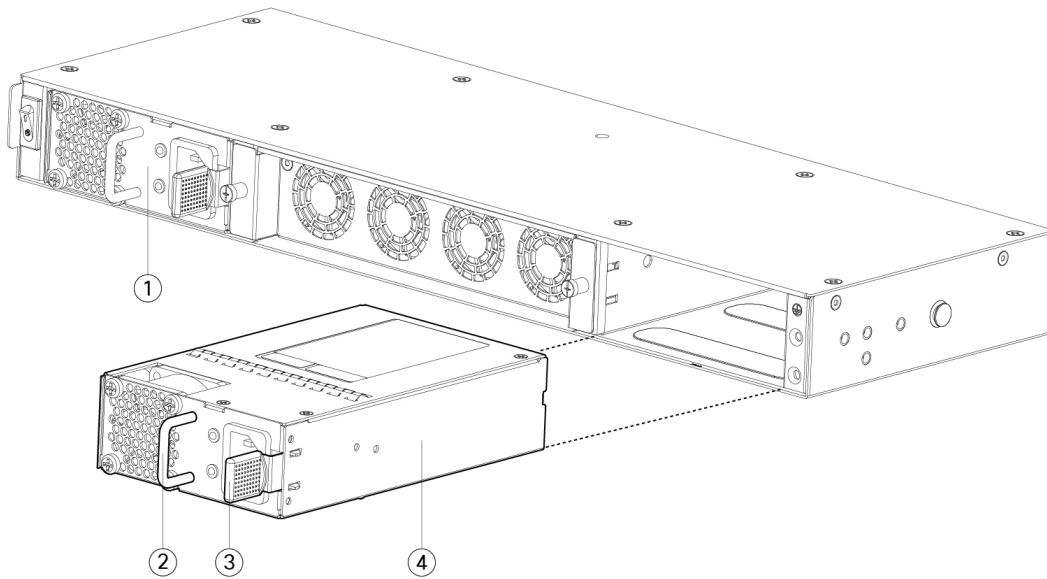
この機器の設置、交換、または修理は、熟練者のみが実施できます。熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。

**警告** ステートメント 1091—教育を受けた担当者による設置

この機器の設置、交換、または修理は、教育を受けた担当者または熟練者のみが実施できます。教育を受けた担当者または熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。

- 
- ステップ 1** 電源モジュールを取り外す前に電源ケーブルを抜きます。先にケーブルを外さないと、電源モジュールのラッチは外れません。
- ステップ 2** 電源モジュールを取り外すには、シャーシの背面に向かってハンドルを握ります。
- ステップ 3** 電源の右にあるラッチを押して、電源を外します。
- ステップ 4** シャーシから引き出すときは、もう一方の手を電源モジュールの底面に添えて支えてください。

図 3: 電源モジュールの取り外し



1	電源モジュール 1	2	電源モジュールのハンドル
3	電源モジュールのラッチ		電源モジュール 2

スロットを空のままにしておく場合は、適切なエアフローを確保し、シャーシ内へのほこりの浸入を防ぐために、ブランク前面プレートを取り付けます。ブランクプレートを取り付けない場合は、別の電源モジュールを取り付けてください。

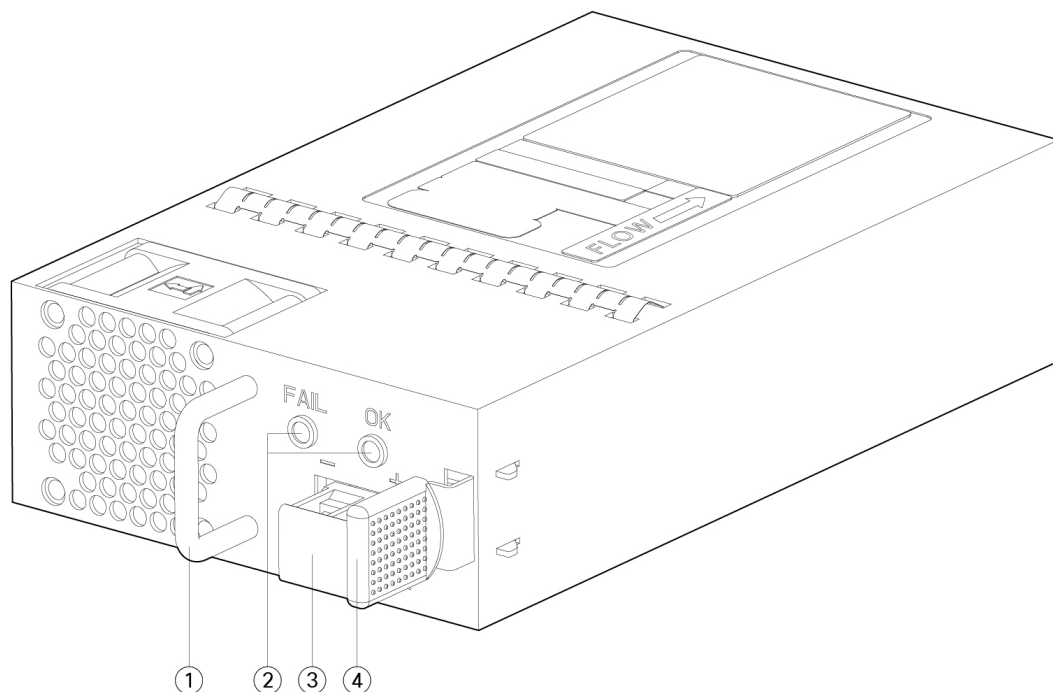
- ステップ 5 電源モジュールを交換するには、電源モジュールを両手で持ち、電源モジュールベイに差し込みます。
- ステップ 6 ラッチがかみ合う音がして固定されるまで、電源モジュールをゆっくりと押し込みます。
- ステップ 7 電源ケーブルを接続します。
- ステップ 8 電源のLEDをチェックして電源が動作中であることを確認します。電源モジュールを参照してください。

## DC 電源モジュールの接続

Firepower 2130 および 2140 では、入力コネクタとプラグは、フィールド配線対応 UL 486 で認識された UL である必要があります。接続の極性は左から右に負 (-)、正 (+)、アースです。

電源装置の取り付けおよび取り外し時にはハンドルを使用します。モジュールの長さのため、モジュールは片手で支える必要があります。

図 4: Firepower 2100 DC 電源モジュール



1	ハンドル	2	FAIL LED および OK LED
3	DC 電源コネクタ	4	イジェクトラッチ

**安全上の警告**

次の警告を記録しておいてください。



**警告** ステートメント 1003 : DC 電源の切断

感電や怪我のリスクを軽減するために、コンポーネントの取り外しや交換、またはアップグレードを実行する前に、DC 電源を切断してください。

**警告** ステートメント 1005—回路ブレーカー

この製品は、設置する建物にショート（過電流）保護機構が備わっていることを前提に設計されています。感電または火災のリスクを軽減するため、保護対象の装置は次の定格を超えないようにします。

AC : 20A

DC : 40A

**警告** ステートメント 1017 : 立ち入り制限区域

この装置は、出入りが制限された場所に設置されることを想定しています。熟練者、教育を受けた担当者、または資格保持者のみが立ち入り制限区域に入ることができます。

**警告** ステートメント 1018 : 電源回路

感電および火災のリスクを軽減するため、装置を電気回路に接続するときに、配線が過負荷にならないように注意してください。

**警告** ステートメント 1022 : デバイスの切断

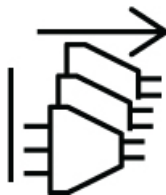
感電または火災のリスクを軽減するため、容易にアクセス可能な二極切断装置を固定配線に組み込む必要があります。

**警告** ステートメント 1025 : 銅の導体のみを使用

火災のリスクを軽減するため、銅線導体のみを使用してください。

**警告** ステートメント 1028 : 複数の電源

この装置には複数の電源装置接続が存在する場合があります。感電の危険を減らすために、すべての接続を取り外してユニットの電源を切ります。



**警告** ステートメント 1029 : ブランクの前面プレートおよびカバー パネル

ブランクの前面プレートおよびカバーパネルには、3つの重要な機能があります。感電および火災のリスクを軽減すること、他の装置への電磁波干渉 (EMI) の影響を防ぐこと、およびシャーシ内の冷気の流れを適切な状態に保つことです。システムは、必ずすべてのカード、前面プレート、前面カバー、および背面カバーを正しく取り付けられた状態で運用してください。

**警告** ステートメント 1030 : 機器の設置

この装置の設置、交換、または保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。

**警告** ステートメント 1073 : ユーザーが保守可能な部品なし

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

**警告** ステートメント 1046 : 装置の設置または交換

感電のリスクを軽減するため、装置を設置または交換するときには、必ずアースを最初に接続し、最後に取り外します。

**警告** ステートメント 1089 : 教育を受けた担当者および熟練者の定義

教育を受けた担当者とは、熟練者から教育やトレーニングを受け、機器を操作する際に必要な予防措置を講じられる人です。

熟練者または資格保持者とは、機器の技術に関するトレーニングを受けているか経験があり、機器を操作する際に潜む危険を理解している人です。

**警告** ステートメント 1090—熟練者による設置

この機器の設置、交換、または修理は、熟練者のみが実施できます。熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。



**警告** ステートメント 1091—教育を受けた担当者による設置

この機器の設置、交換、または修理は、教育を受けた担当者または熟練者のみが実施できます。教育を受けた担当者または熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。

**始める前に**

- DC 入力電源モジュールの導線のカラー コーディングは、設置場所の DC 電源のカラー コーディングによって異なります。DC 入力電源モジュール用に選択した導線のカラー コーディングが、DC 電源で使用される導線のカラー コーディングに一致していること、および電源が電源モジュールのマイナス (-) 端子とプラス (+) 端子に接続されていることを確認してください。
- DC 電源装置の取り付けを開始する前に、シャーシアースがシャーシに接続されていることを確認します。手順については、[シャーシの接地](#)を参照してください。

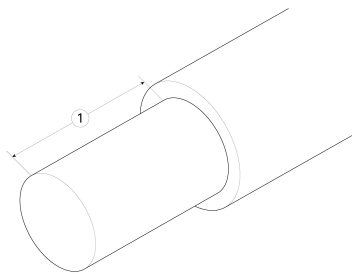
**ステップ 1** 取り付ける電源モジュールの DC 回路への電源がオフになっていることを確認します。

**ステップ 2** 電源モジュールを片手で支えながら、電源モジュールを電源装置ベイに挿入し、静かに押し込みます。ハンドルの位置については、上の図を参照してください。

**ステップ 3** DC 入力電源に接続されている 2 本の各導線の被覆を剥すために、ワイヤストリッパを使用します。約 0.39 インチ (10 mm) + 0.02 インチ (0.5 mm) に導線の被覆を剥がします。14 AWG 絶縁線を使用することを推奨します。

(注) 端子ブロックから導線が露出されたままになる可能性があるため、推奨されている長さ以上に被覆を剥がさないでください。

図 5: 被覆を剥がした状態の DC 入力電源線



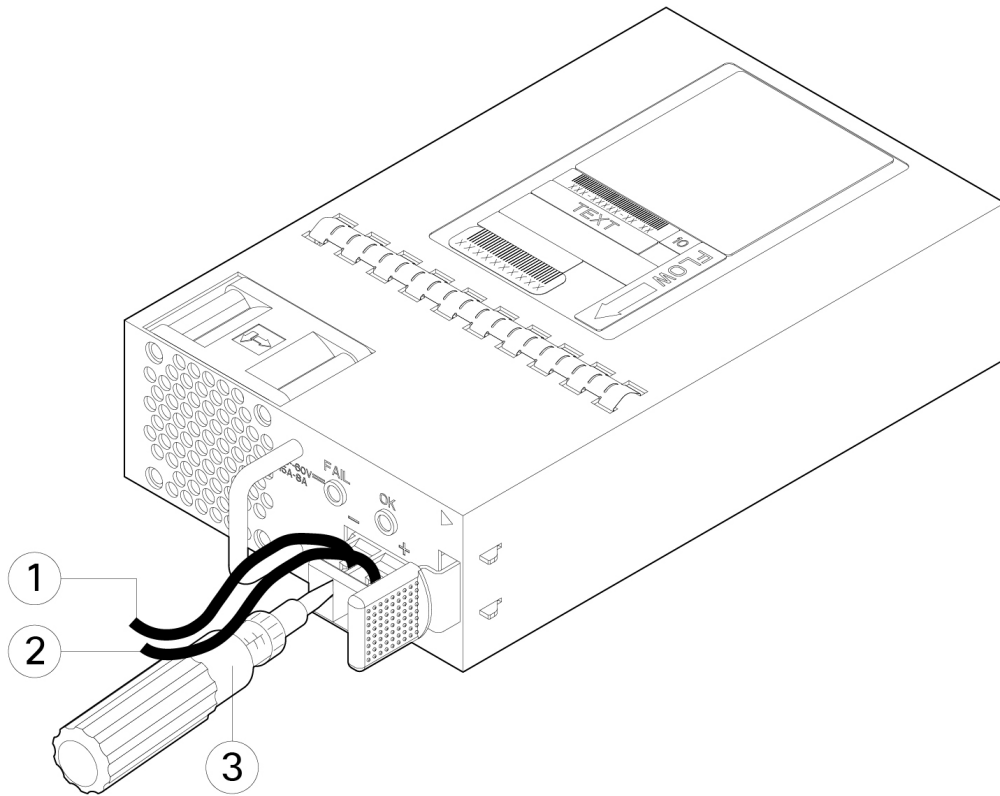
<b>1</b>	約 0.39 インチ (10 mm) + 0.02 インチ (0.5 mm) に導線の被覆を剥がします。	—
----------	--	---

**ステップ 4** 露出した導線を端子ブロックに挿入します。プラスチックカバーから導線が見えないことを確認します。端子ブロックから伸びる導線部分は、絶縁体で覆われている必要があります。

**ステップ5** ドライバを使用して、端子ブロックの非脱落型ネジを締めます。

**注意** 端子ブロックの非脱落型ネジをきつく締めすぎないようにしてください。ぴったりと接続しているが、導線が押しつぶされていないことを確認します。各導線を軽く引いて、導線が動かないことを確認します。

図 6: 端子ブロック非脱落型ネジの締め付け



1	マイナス (-) 導線	2	プラス (+) 導線
---	-------------	---	------------

**ステップ6** 必要に応じて、残りの DC 入力電源の導線についてこの手順を繰り返します。

**ステップ7** タイラップを使用してラックに導線を固定し、導線が端子ブロックから引っ張られないようにします。

**ステップ8** 回線の DC 切断スイッチを ON に設定します。複数の電源装置が搭載されているシステムでは、各電源装置をそれぞれ別の DC 電源に接続してください。電源障害が発生した場合に、2 番目の電源がまだ使用可能な場合は、システム動作を維持できます。

**ステップ9** シャーシの前面の電源 LED で、電源の動作状況を確認します。LED の値については、[前面パネル LED](#)を参照してください。

## 電源モジュールの電源コードの保護

電源モジュールを誤って取り外すことを防ぎ、システムパフォーマンスの中断を防止するには、Firepower 2100 の出荷時に添付されているアクセサリキットのタイラップとクランプを使用します。

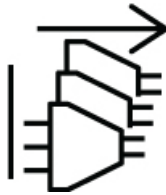
### 安全上の警告

次のコンポーネント交換に関する安全上の警告に注意してください。



#### 警告 ステートメント 1028：複数の電源

この装置には複数の電源装置接続が存在する場合があります。感電の危険を減らすために、すべての接続を取り外してユニットの電源を切ります。



#### 警告 ステートメント 1030：機器の設置

この装置の設置、交換、または保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。



#### 警告 ステートメント 1073：ユーザーが保守可能な部品なし

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。



#### 警告 ステートメント 1089：教育を受けた担当者および熟練者の定義

教育を受けた担当者とは、熟練者から教育やトレーニングを受け、機器を操作する際に必要な予防措置を講じられる人です。

熟練者または資格保持者とは、機器の技術に関するトレーニングを受けているか経験があり、機器を操作する際に潜む危険を理解している人です。





**警告** ステートメント 1090—熟練者による設置

この機器の設置、交換、または修理は、熟練者のみが実施できます。熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。



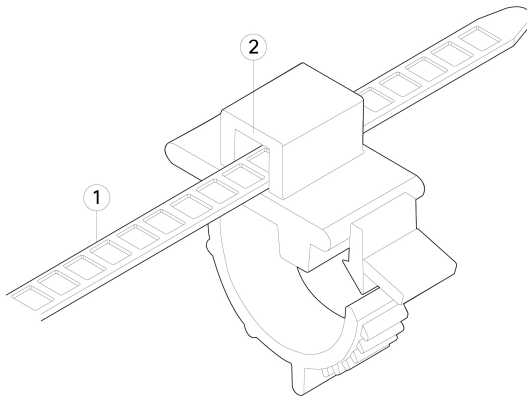
**警告** ステートメント 1091—教育を受けた担当者による設置

この機器の設置、交換、または修理は、教育を受けた担当者または熟練者のみが実施できます。教育を受けた担当者または熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。

**ステップ 1** ループ側を下にしてクランプを保持し、クランプの上のボックス型のチャンネルを通してタイラップをスライドさせて、クランプをタイラップに取り付けます（次の図を参照）。

タイラップの片側に均等に間隔をあけたうねができ、もう一方は滑らかになります。うねのある側が上向きになり、チャンネルのオープン側を通してスライドすることを確認します。タイがスライドするときクリック音が発生します。これは1方向にのみ動きます。タイラップをクランプから取り外すには、ボックス型チャンネルのクローズ側にあるレバーを押して、タイラップをスライドさせて出します。

図 7: クランプのボックスチャンネルを通るタイラップ



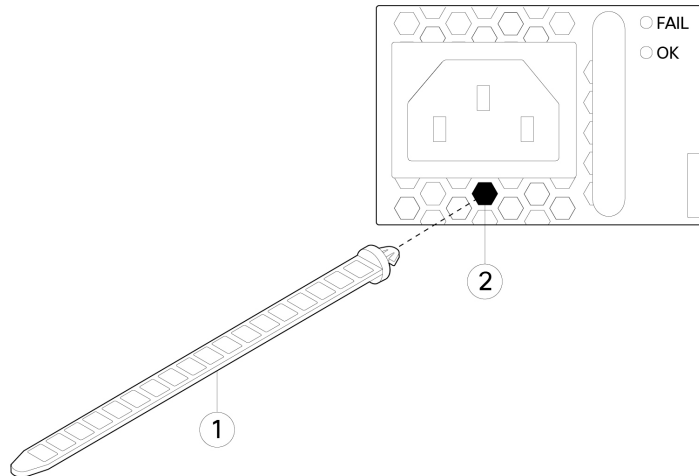
<b>1</b>	ボックスチャンネル	<b>2</b>	タイラップ
----------	-----------	----------	-------

**ステップ 2** 電源モジュールにクランプを取り付けます。

- a) 電源コネクタ本体のすぐ下のプラグの中央にある電源モジュールの六角形の通気孔に配置します（次の図を参照）。
- b) 六角形の穴にタイラップのスナップ部分を差込みます。
- c) クランプ側を上にして、完全にはまるまでタイラップを押し込みます。

**注意** タイラップを損傷することなく一度取り付けすると、電源モジュールからタイラップを取り外すことができなくなるため、位置が正しいことを確認します。

図 8: タイラップの接続

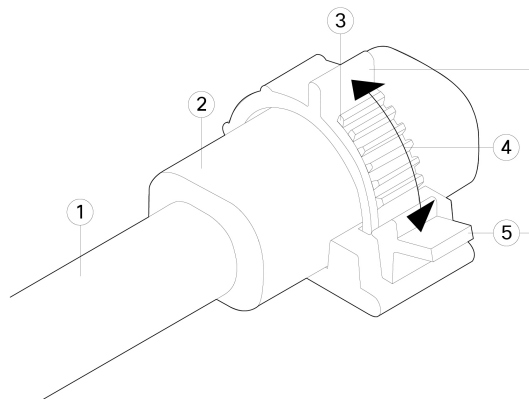


<b>1</b>	タイラップ	<b>2</b>	六角形の穴
----------	-------	----------	-------

**ステップ 3** クランプの保護 :

- a) 電源の電源コードを差し込み、電源コードの成型部のクランプの周りを覆います。
- b) リング状の歯がクランプの嵌合部とかみ合うようにクランプタブを一緒に締め付けます。
- c) クランプが成型部にぴったりはまっていることを確認します。
- d) クランプが成型部の前面に対してしっかり固定され、軽く引っぱっても電源コードが抜けないように、タイラップ上のクランプの位置を調整します。

図 9: 電源ケーブルの成型部のクランプ



1	電源コード	2	電源コードの成型部
3	締め付けクランプのリング状の歯	4	クランプタブを締め付ける方向
5	クランプリリースタブ		—

**ステップ 4** 電源コードを取り外す必要がある場合は、クランプのリリースタブを押してリング状のクランプの歯に力を加え、クランプを外して開かせます。これで電源コードからクランプを取り外せます。

## ファントレイの取り外しと交換

Firepower 2130 および 2140 の稼働中にファントレイを取り外して交換することができます。エアフローは前面から背面に流れます。すべてのファンモジュールは単一のファントレイに統合されます。



**注意** ファントレイを取り外すと、アプライアンスに空気が送られません。取り外した後 30 秒以内にファントレイを交換して、アプライアンスの過熱を防止します。30 秒以上待つと、コンポーネントの損傷を防ぐために、アプライアンスの電源が自動的に切れることがあります。ファントレイがないと、アプライアンスの電源が入らず、適切に起動しません。

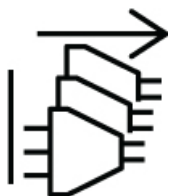
### 安全上の警告

次のコンポーネント交換に関する安全上の警告に注意してください。



**警告** ステートメント 1028：複数の電源

この装置には複数の電源装置接続が存在する場合があります。感電の危険を減らすために、すべての接続を取り外してユニットの電源を切ります。



**警告** ステートメント 1030：機器の設置

この装置の設置、交換、または保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。



**警告** ステートメント 1073：ユーザーが保守可能な部品なし

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。



**警告** ステートメント 1089：教育を受けた担当者および熟練者の定義

教育を受けた担当者とは、熟練者から教育やトレーニングを受け、機器を操作する際に必要な予防措置を講じられる人です。

熟練者または資格保持者とは、機器の技術に関するトレーニングを受けているか経験があり、機器を操作する際に潜む危険を理解している人です。



**警告** ステートメント 1090—熟練者による設置

この機器の設置、交換、または修理は、熟練者のみが実施できます。熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。



**警告** ステートメント 1091—教育を受けた担当者による設置

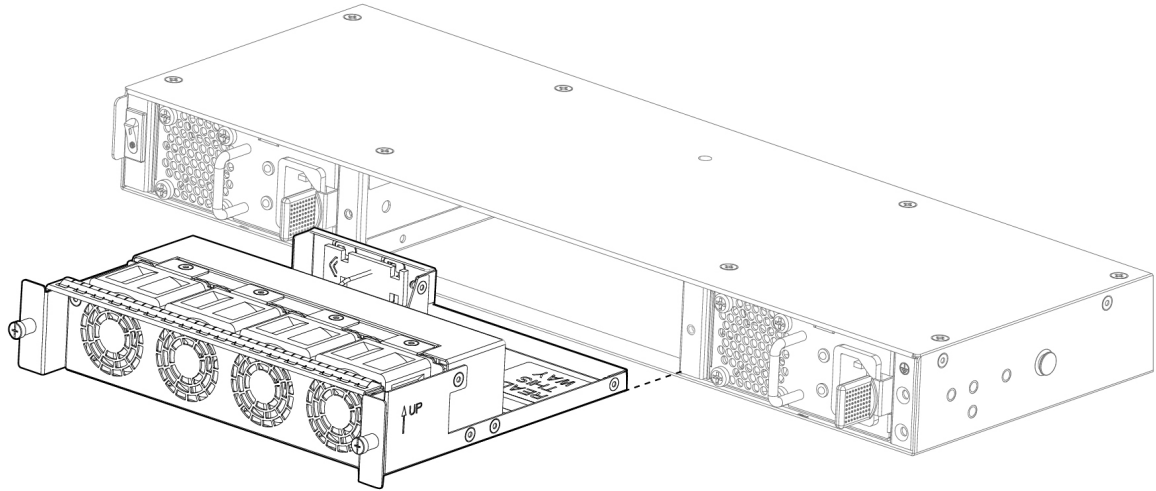
この機器の設置、交換、または修理は、教育を受けた担当者または熟練者のみが実施できます。教育を受けた担当者または熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。

**ステップ 1** 30 秒以内にファントレイを再取り付けできるように、ファントレイをすぐに挿入可能な状態でアプライアンスの近くに準備しておきます。

**ステップ 2** ファントレイを取り外すには、シャーシの背面に向き、ファントレイの 2 本の非脱落型ネジを緩めます。

**ステップ 3** ファントレイをシャーシから引き抜きます。

図 10: ファントレイの取り外し



**ステップ 4** ファントレイを交換するには、ファンスロットの前にファントレイを保持します。

**ステップ 5** 完全に装着されるまでシャーシにファントレイを押し込み、非脱落型ネジを締めます。システムの電源がオンになったら、ファンの動作音を確認します。ただちに、ファンの動作音が聞こえます。動作音が聞こえない場合には、ファントレイがシャーシ内に完全に装着され、前面プレートがシャーシの外面と揃っていることを確認してください。

**ステップ 6** ファントレイの LED をチェックして、ファンが動作していることを確認します。ファンの LED については、[前面パネル LED](#) を参照してください。

## 2 支柱ラックの FIPS 不透明シールドの取り付け



(注) FIPS 不透明シールドがシャーシのシリアル番号を覆っているため、Crypto Officer (CO) はシリアル番号をメモして安全な場所に保管する必要があります。このシリアル番号は、Cisco TAC に連絡する際に必要になります。



**注意** この手順は、CO のみが実行する必要があります。

FIPS 不透明シールドを取り付けるには次が必要です。

- No.1 プラス ドライバ
- FIPS キットに含まれている次のもの
  - 1 つの FIPS 不透明シールド

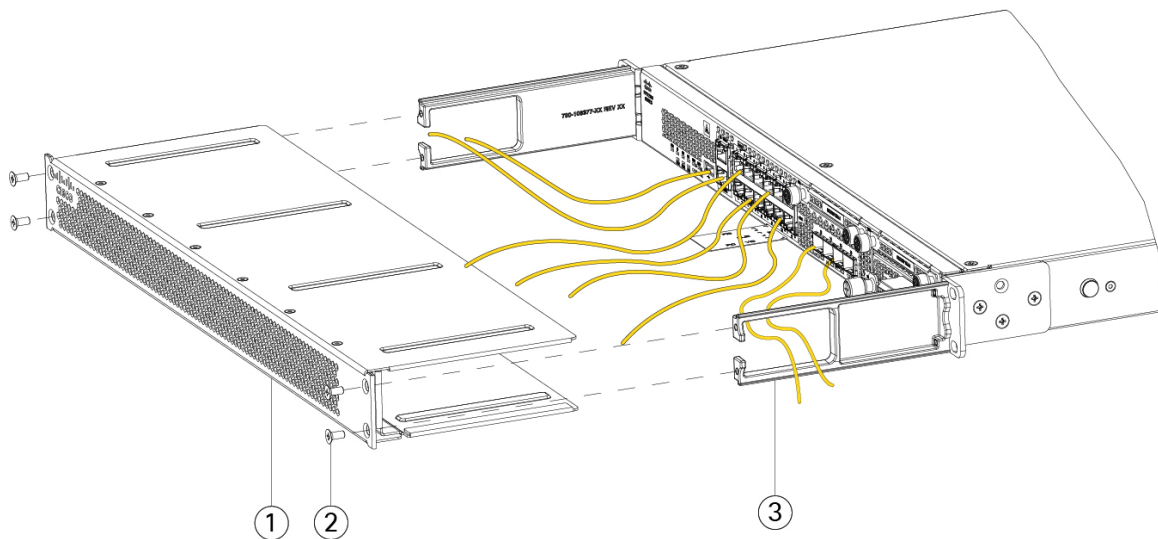
- FIPS 不透明シールドをケーブル管理ブラケットに取り付けるために使用する 4 本の 8-32 X 0.375 インチプラスネジ
- 7 枚の改ざん防止用ラベル (TEL)



(注) TEL は、粘着性の裏材を使用した特殊な薄いゲージのビニールでできています。CO が TEL をシャーシに取り付けた後は、シャーシを開こうとすると TEL またはシャーシカバーが破損します。TEL には繰り返しのないシリアル番号が付加されているため、CO は破損を調べ、与えられたシリアル番号と比較して、シャーシが改ざんされていないかどうかを確認できます。TEL の角が丸まっていたり、破れていたたり、切れている場合は、改ざんされていることを示します。ラベルがはがされた場合は、「FIPS」または「OPEN」と表示されることがあります。

- ステップ 1** シリアル番号をメモし、安全な場所に保管します。シリアル番号の確認方法については、「[シリアル番号の場所](#)」を参照してください。
- ステップ 2** ケーブル管理ブラケットの取り付けなど、「[ブラケットを使用したシャーシのラックマウント](#)」に記載されている手順を実行します (ステップ 2)。
- ステップ 3** ケーブルをポートに接続します。ケーブル管理ブラケットに通すための十分なたるみがケーブルにあることを確認します。
- (注) 製品の初期設置の後に FIPS 不透明シールドを取り付けている場合は、ケーブルがすでに接続されています。接続されているケーブルに、ケーブル管理ブラケットに通すための十分なたるみ (以下の図を参照) がない場合は、アプライアンスの電源を切り、ケーブルを取り外してケーブル取り付けブラケットに通してから、ケーブルを接続しなおして、次の手順 5 に進んでください。
- (注) 電源スイッチをオンからオフに切り替えると、システムの電源が切れるまで数秒かかります。電源 LED がオフになるまで電源ケーブルを抜かないでください。電源スイッチをオフに動かすか電源コードを取り外してシャーシへの電力供給を遮断した後は、少なくとも 10 秒間待機してから電源を再投入してください。
- ステップ 4** 以下の図に示すように、ケーブルをケーブル管理ブラケットの開口部に通して配線します。
- ステップ 5** 以下の図に示すように、FIPS キットに付属の 4 本の 8-32 X 0.375 インチプラスネジを使用して、FIPS 不透明シールドをケーブル管理ブラケットに取り付けます。

図 11: ケーブルを配線し、ネジ取り付けます。



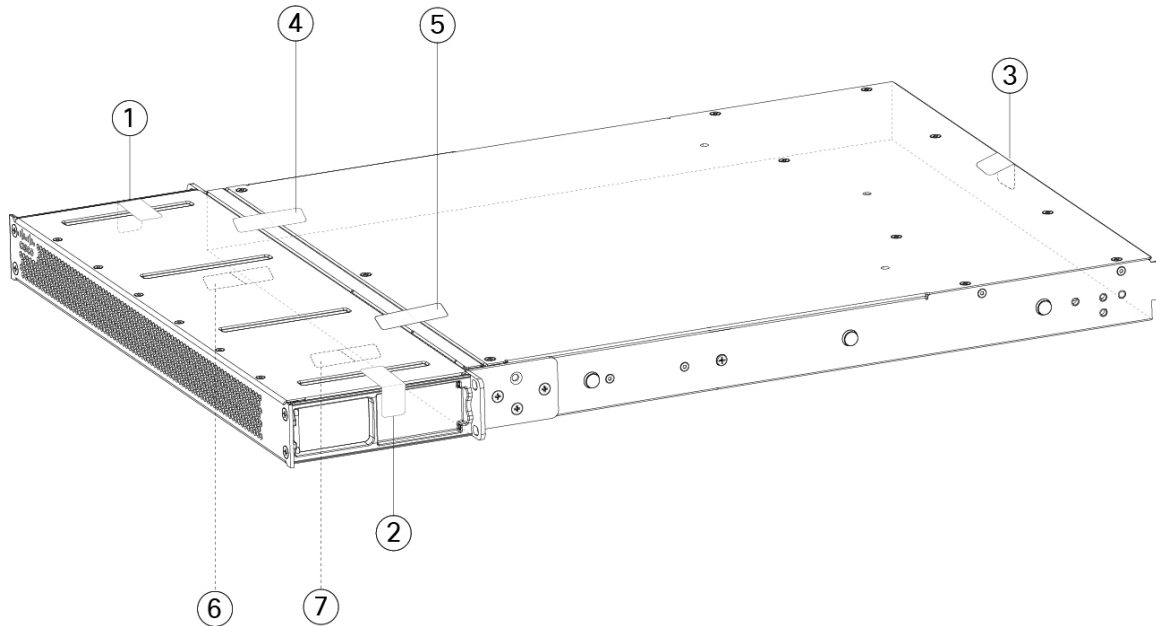
1	FIPS 不透明シールド	2	8-32 X 0.375 インチプラスネジ (各側面に 2 本)
3	ケーブル管理ブラケット		—

**ステップ 6** TEL を貼り付ける前に、アルコールベースのクリーニングパッドを使用して、シャーシと FIPS カバーのグリスや汚れ、油などを掃除します。

**ステップ 7** 7 枚の TEL を貼り付けます。正しい配置については、次の図を参照してください。TEL を最低 12 時間硬化させます。

**注意** TEL の配置に狂いがある場合、シャーシが FIPS モードではないことを示します。

図 12: シャーシ上の TEL の配置



1	シャーシの左側と上部にある TEL 1	2	シャーシの右側と上部にある TEL 2
3	シャーシの上部と背面にある TEL 3	4	FIPS シールドとシャーシを横切る TEL 4 (シャーシの向かって左側)
5	FIPS シールドとシャーシを横切る TEL 5 (シャーシの向かって右側)	6	シャーシ下部の TEL 6 (シャーシの向かって左側)
7	シャーシ下部の TEL 7 (シャーシの向かって右側)	—	—

**ステップ 8** 電源コードをシャーシに接続し、電源コンセントに接続します。

**ステップ 9** リア パネルの電源スイッチを押します。

**ステップ 10** 前面パネルの電源 LED を確認します。電源 LED の説明については、「[前面パネル LED](#)」を参照してください。緑の点灯は、シャーシの電源がオンであることを示します。

**ステップ 11** シャーシを FIPS モードにします。

シャーシを FIPS モードにする方法については、次の手順を参照してください。

- [プラットフォームモードでの ASA](#)
- [アプライアンスモードでの ASA](#)
- [FMC に管理される FTD](#)



### 次のタスク

設定情報の詳細については、ご使用のオペレーティングシステムの『[Cisco Firepower 2100 Getting Started Guide](#)』[英語]を参照してください。

## 4 支柱ラックの FIPS 不透明シールドの取り付け



**注意** この手順は暗号担当役員（CO）のみが実行する必要があります。



(注) FIPS 不透明シールドがシャーシのシリアル番号を覆っているため、CO はシリアル番号をメモして安全な場所に保管する必要があります。このシリアル番号は、Cisco TAC に連絡する際に必要になります。

FIPS 不透明シールドを取り付けるには次が必要です。

- No.1 プラス ドライバ
- FIPS キットに含まれている次のもの
  - 1 つの FIPS 不透明シールド
  - FIPS 不透明シールドをケーブル管理ブラケットに取り付けるために使用する 4 本の 8-32 X 0.375 インチプラスネジ
  - 7 枚の改ざん防止用ラベル（TEL）



(注) TEL は、粘着性の裏材を使用した特殊な薄いゲージのビニールでできています。CO が TEL をシャーシに取り付けた後は、シャーシを開こうとすると TEL またはシャーシカバーが破損します。TEL には繰り返しのないシリアル番号が付加されているため、CO は破損を調べ、与えられたシリアル番号と比較して、シャーシが改ざんされていないかどうかを確認できます。TEL の角が丸まっていたり、破れていたたり、切れている場合は、改ざんされていることを示します。ラベルがはがされた場合は、「FIPS」または「OPEN」と表示されることがあります。

**ステップ 1** シリアル番号をメモし、安全な場所に保管します。シリアル番号の確認方法については、「[シリアル番号の場所](#)」を参照してください。

**ステップ 2** 「[スライドレールを使用したシャーシのラックマウント](#)」に記載されている手順を実行します。

4 支柱ラックの FIPS 不透明シールドの取り付け

**ステップ 3** ケーブルをポートに接続します。ケーブル管理ブラケットに通すための十分なたるみがケーブルにあることを確認します。

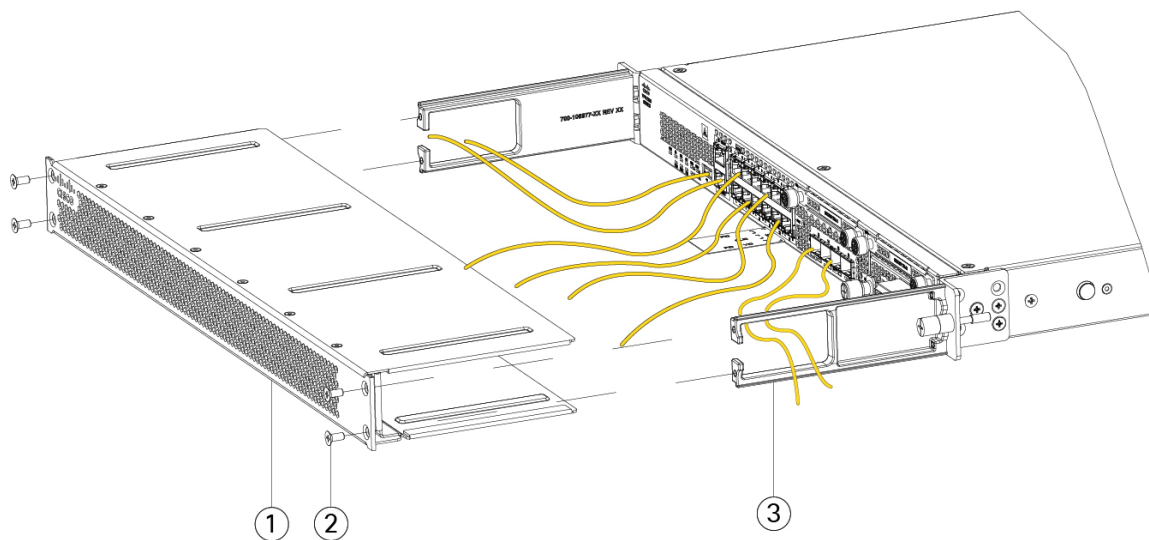
(注) 製品の初期設置の後に FIPS 不透明シールドを取り付けている場合は、ケーブルがすでに接続されています。接続されているケーブルに、ケーブル管理ブラケットに通すための十分なたるみ（次の手順を参照）がない場合は、アプライアンスの電源を切り、ケーブルを取り外してケーブル取り付けブラケットに通してから、ケーブルを接続しなおして、次の手順 5 に進んでください。

(注) 電源スイッチをオンからオフに切り替えると、システムの電源が切れるまで数秒かかります。電源 LED がオフになるまで電源ケーブルを抜かないでください。電源スイッチをオフに動かすか電源コードを取り外してシャーシへの電力供給を遮断した後は、少なくとも 10 秒間待機してから電源を再投入してください。

**ステップ 4** ケーブルをケーブル管理ブラケットの開口部を通して配線します（下図を参照）。

**ステップ 5** FIPS キットに付属の 4 本の 8-32 X 0.375 インチプラスネジを使用して、FIPS 不透明シールドをケーブル管理ブラケットに取り付けます。

図 13: ケーブルを配線し、ネジ取り付けます。



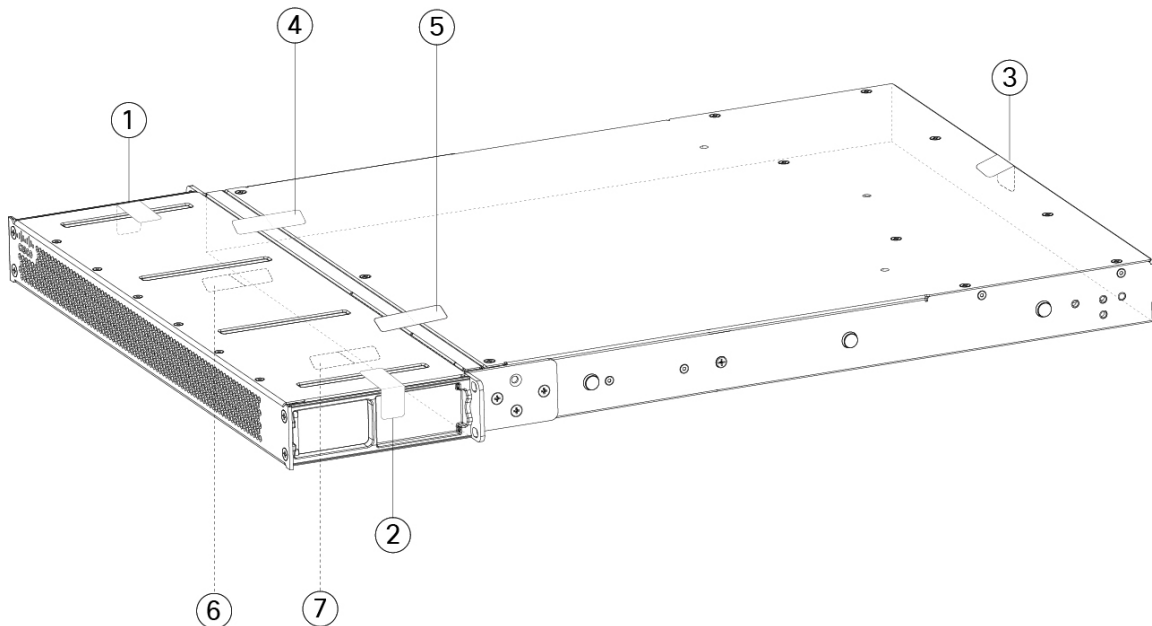
1	FIPS 不透明シールド	2	8-32 X 0.375 インチプラスネジ (各側面に 2 本)
3	ケーブル管理ブラケット		

**ステップ 6** TEL を貼り付ける前に、アルコールベースのクリーニングパッドを使用して、シャーシのグリスや汚れ、油などを掃除します。

**ステップ 7** 7 枚の TEL を貼り付けます。正しい配置については、次の図を参照してください。TEL を最低 12 時間硬化させます。

**注意** TEL の配置に狂いがある場合、シャーシが FIPS モードではないことを示します。

図 14: シャーシ上の TEL の配置



1	シャーシの左側と上部にある TEL 1	2	シャーシの右側と上部にある TEL 2
3	シャーシの上部と背面にある TEL 3	4	FIPS シールドとシャーシを横切る TEL 4 (シャーシの向かって左側)
5	FIPS シールドとシャーシを横切る TEL 5 (シャーシの向かって右側)	6	シャーシ下部の TEL 6 (シャーシの向かって左側)
7	シャーシ下部の TEL 7 (シャーシの向かって右側)		—

**ステップ 8** 電源コードをシャーシに接続し、電源コンセントに接続します。

**ステップ 9** リアパネルの電源スイッチを押します。

**ステップ 10** 前面パネルの電源 LED を確認します。電源 LED の説明については、「[前面パネル LED](#)」を参照してください。緑の点灯は、シャーシの電源がオンであることを示します。

**ステップ 11** シャーシを FIPS モードにします。

シャーシを FIPS モードにする方法については、次の手順を参照してください。

- [プラットフォームモードでの ASA](#)
- [アプライアンスモードでの ASA](#)
- [FMC に管理される FTD](#)

### 次のタスク

設定情報の詳細については、ご使用のオペレーティングシステムの『[Cisco Firepower 2100 Getting Started Guide](#)』 [英語] を参照してください。

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。